

令和5年度 森林環境譲与税の用途について

1. 概要

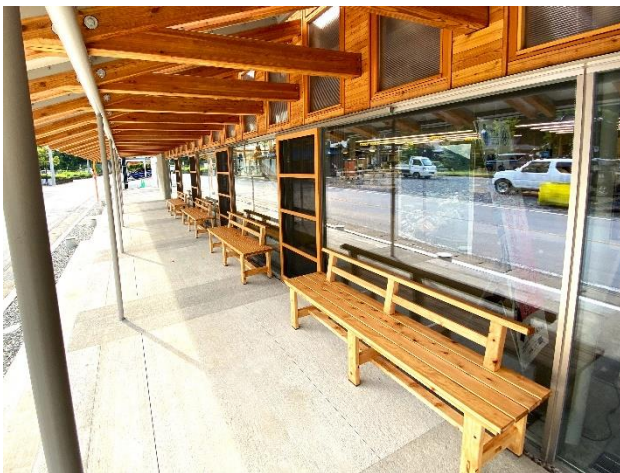
丹波山村では、令和5年度森林環境譲与税が4,618,000円交付され、木材利用を中心に以下の通り事業を実施しました。尚、丹波山村森林環境譲与税基金条例に基づき、事業費の一部を基金に積立てており、この基金は今後の森林整備や木材利用等に活用されます。

事業名	事業内容	実施体制	令和5年度決算額
木材利用事業	丹波山村産木材や森林資源の活用を図る	委託	2,356,453円
普及啓発事業	森林や林業を広く一般に普及する	直営・補助	404,250円
森林情報整備事業	森林GISの整備を行う	委託	220,000円
基金積立		—	1,637,297円

2. 木材利用事業 (2,356,453円)

丹波山村産の間伐材を有効活用し、屋外用のテーブルやベンチを製作しました。令和5年度は役場新庁舎に設置し、庁舎利用客に対し丹波山村産材に触れてもらうきっかけづくりに取り組みました。また、木製のノベルティを製作し、来村者に配布しました。これらの取り組みにより、丹波山村産材をより多くの方々に触れ、手に取ってもらえる効果がありました。

尚、本事業では丹波山村産のヒノキ板材を使用し、製作にあたっては丸太の製材および乾燥から行いました。



設置されたベンチ



木製ノベルティ

3. 普及啓発事業（404,250 円）

丹波山村の森林や林業を広く一般に普及させる取り組みを行いました。丹波山村立丹波小学校、中学校の生徒に対し、林業に関する講義や実習を行いました。講師は、村内の林業従事者に依頼し、森林に囲まれた村ならではの授業、森林がより身近に感じられる授業を実施することができました。

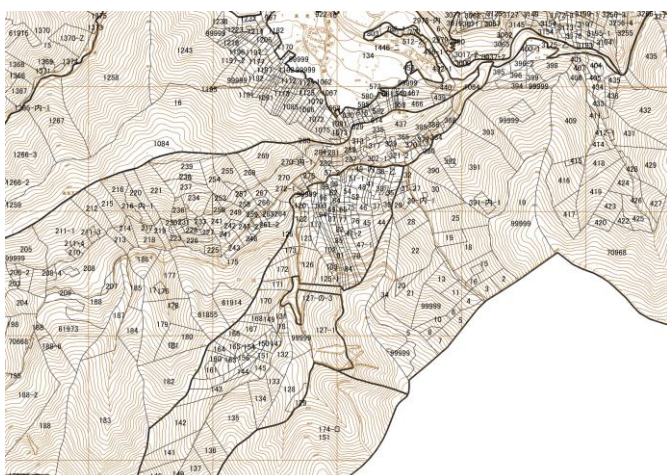
その他、体験の森の整備、体験用ノコギリの購入を実施しました。



講義の様子

4. 森林情報整備事業（220,000 円）

森林管理のために導入している森林 GIS システムについて、情報の更新および保守点検を実施し、令和 4 年度までの森林施業履歴や林地活用状況を整備しました。この GIS が整備されることで、森林管理や調査の効率化、精度向上に繋がります。今後は、森林資源状況調査の解析データ等も取込み、一元的に森林情報にアクセスできる体制を目指していきます。



管理画面の参考例

以上